【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公開番号】特開2009-232298(P2009-232298A)
【公開日】平成21年10月8日(2009.10.8)
【年通号数】公開・登録公報2009-040
【出願番号】特願2008-76931(P2008-76931)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｒ　25/00　　(2006.01)
Ｈ０２Ｊ　 7/00　　(2006.01)
Ｈ０２Ｊ　 7/04　　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　10/44　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｒ　25/00　　Ｐ
Ｈ０２Ｊ　 7/00　３０３Ａ
Ｈ０２Ｊ　 7/04　　Ａ
Ｈ０１Ｍ　10/44　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成23年3月9日(2011.3.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
人体の体温を熱起電力に変換する熱電変換手段と、
ユーザの耳に装着された状態であるか否かを、前記熱電変換手段により生成される熱起電力を蓄電してなる充電出力の経時変化から判定する状態判定手段と、
前記状態判定手段によりユーザの耳に装着された状態と判定された場合に、充電池の出力を検出する検出手段と、
前記検出手段により検出された充電池の出力が所定の閾値以下の場合に、前記熱電変換手段が発生する熱起電力を蓄電してなる充電出力にて充電池を充電する充電手段と
を具備することを特徴とする補聴器。
【請求項２】
前記充電手段は、前記検出手段により検出された充電池の出力が所定の閾値を超えた場合に、充電池への充電を停止する一方、前記熱電変換手段により生成される熱起電力の蓄電を停止することを特徴とする請求項１記載の補聴器。
【請求項３】
前記熱電変換手段は、耳装着時に外耳道壁に圧接する高温側シート部材と、この高温側シート部材の対面側に設けられる低温側シート部材とで熱電素子アレイを挟持する構造を具備することを特徴とする請求項１記載の補聴器。
【請求項４】
ユーザの耳に装着された状態であるか否かを、前記熱電変換手段により生成される熱起電力を蓄電してなる充電出力の経時変化から判定する状態判定ステップと、
前記状態判定ステップによりユーザの耳に装着された状態と判定された場合に、充電池の出力を検出する検出ステップと、
前記検出ステップにより検出された充電池の出力が所定の閾値以下の場合に、体温から

変換された熱起電力を蓄電してなる充電出力にて充電池を充電する充電ステップと
をコンピュータで実行させることを特徴とする補聴器の処理プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記目的を達成するため、請求項１に記載の発明では、人体の体温を熱起電力に変換する熱電変換手段と、ユーザの耳に装着された状態であるか否かを、前記熱電変換手段により生成される熱起電力を蓄電してなる充電出力の経時変化から判定する状態判定手段と、前記状態判定手段によりユーザの耳に装着された状態と判定された場合に、充電池の出力を検出する検出手段と、前記検出手段により検出された充電池の出力が所定の閾値以下の場合に、前記熱電変換手段が発生する熱起電力を蓄電してなる充電出力にて充電池を充電する充電手段とを具備することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記請求項１に従属する請求項２に記載の発明では、前記充電手段は、前記検出手段により検出された充電池の出力が所定の閾値を超えた場合に、充電池への充電を停止する一方、前記熱電変換手段により生成される熱起電力の蓄電を停止することを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
上記請求項１に従属する請求項３に記載の発明では、前記熱電変換手段は、耳装着時に外耳道壁に圧接する高温側シート部材と、この高温側シート部材の対面側に設けられる低温側シート部材とで熱電素子アレイを挟持する構造を具備することを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
請求項４に記載の発明では、ユーザの耳に装着された状態であるか否かを、前記熱電変換手段により生成される熱起電力を蓄電してなる充電出力の経時変化から判定する状態判定ステップと、前記状態判定ステップによりユーザの耳に装着された状態と判定された場合に、充電池の出力を検出する検出ステップと、前記検出ステップにより検出された充電池の出力が所定の閾値以下の場合に、体温から変換された熱起電力を蓄電してなる充電出力にて充電池を充電する充電ステップとをコンピュータで実行させることを特徴とする。